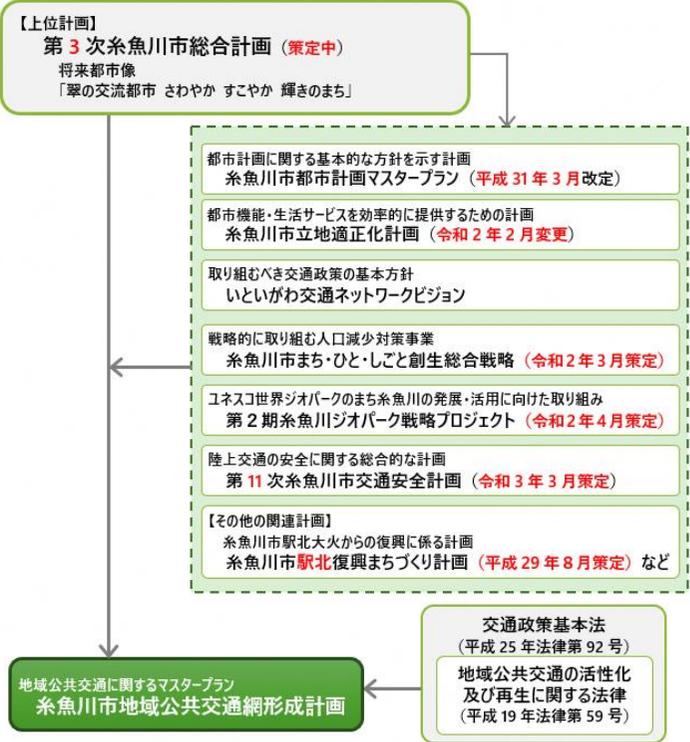
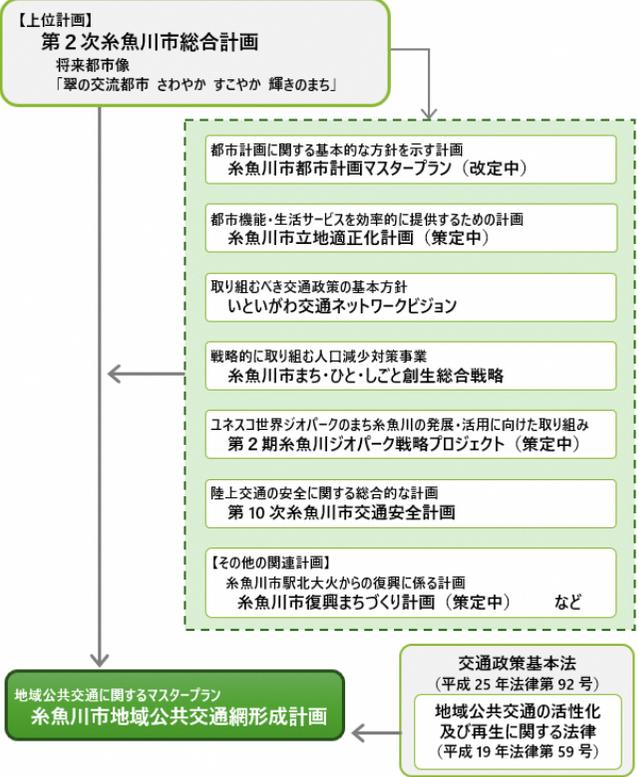


糸魚川市地域公共交通網形成計画 新旧対照表

(令和3年11月26日現在)

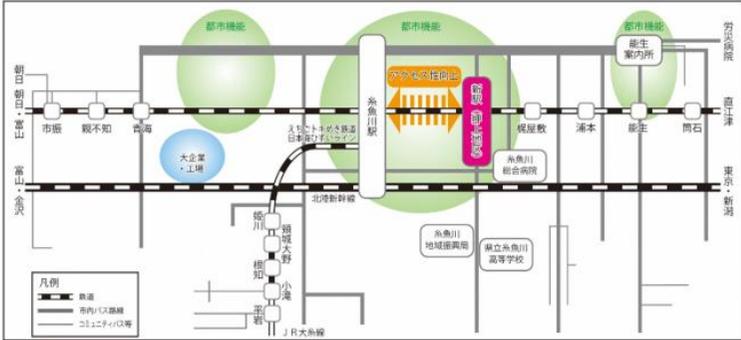
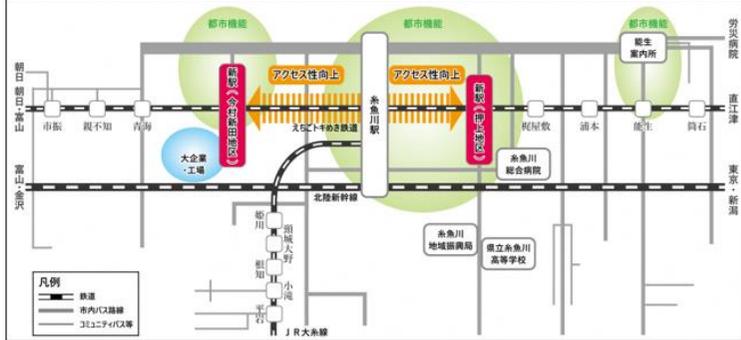
1. 本編

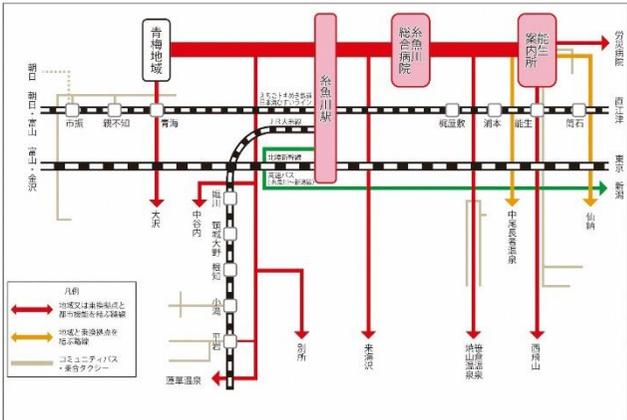
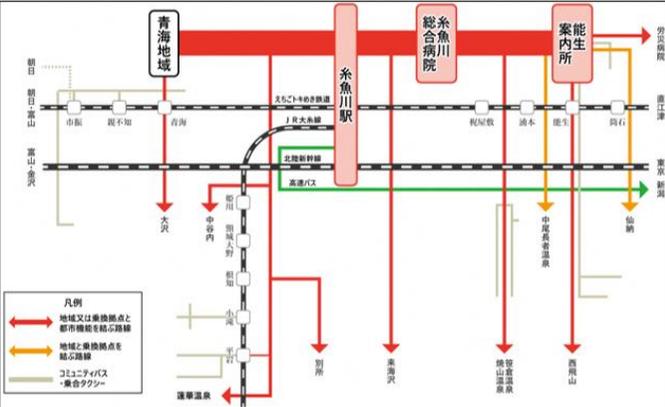
頁	新	旧	備考
1	<p>1. 計画策定の背景と目的 (略)</p> <p>さらに、新たにえちごトキめき鉄道日本海ひすいラインにおいて<u>新駅(押上地区)を設置するなど</u>、鉄道を主軸とした公共交通網の再構築が必要となっています。</p> <p>(略)</p>	<p>1. 計画策定の背景と目的 (略)</p> <p>さらに、新たにえちごトキめき鉄道日本海ひすいラインで<u>新駅設置も計画されており</u>、鉄道を主軸とした公共交通網の再構築が必要となっています。</p> <p>(略)</p>	(変更)
1	<p>2. 計画の区域及び計画期間 (1) (略) (2) 計画期間</p> <p>計画期間は、<u>平成29年度から令和6年度までの8年間</u>とします。</p>	<p>2. 計画の区域及び計画期間 (1) (略) (2) 計画期間</p> <p>計画期間は、<u>平成29年度から平成33年度までの5年間</u>とします。</p>	(変更)

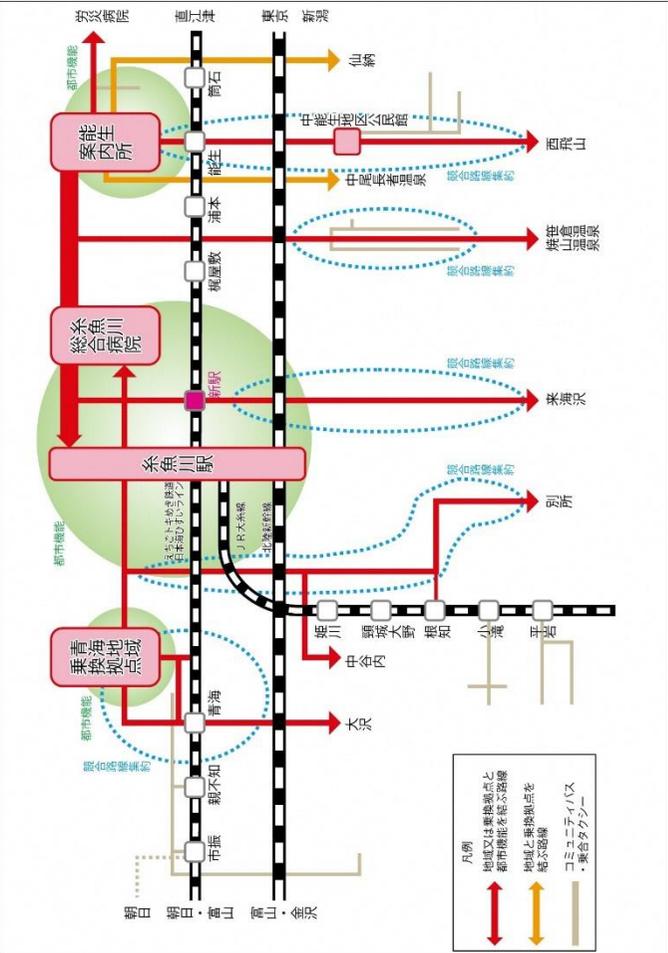
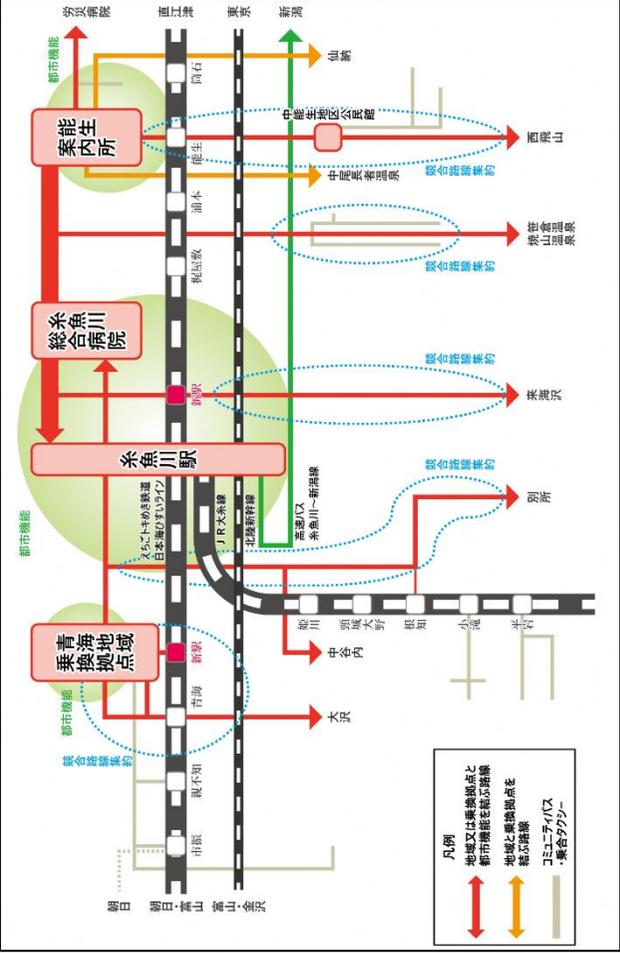
頁	新	旧	備考
2	<p>3. 計画の位置づけ（上位・関連計画）</p> <p>糸魚川市地域公共交通網形成計画は、当市のまちづくりを進めていくための最上位計画で当市の各種計画や施策の基本となる「第3次糸魚川市総合計画（策定中）」に基づくものです。</p> <p>（略）</p> 	<p>3. 計画の位置づけ（上位・関連計画）</p> <p>糸魚川市地域公共交通網形成計画は、当市のまちづくりを進めていくための最上位計画で当市の各種計画や施策の基本となる「第2次糸魚川市総合計画」に基づくものです。</p> <p>（略）</p> 	(変更)

頁	新	旧	備考
3	<p>4. 糸魚川市の現状と課題の概要 <u>※計画策定（平成 28 年）時点</u> （略）</p>	<p>4. 糸魚川市の現状と課題の概要 （略）</p>	（追加）
7	<p>5. 地域公共交通をめぐる新たな動き（新駅設置計画） 前述の現状と課題のほか、地域公共交通をめぐる新たな動きがあるので、次のとおり整理します。 <u>※計画策定（平成 28 年）時点</u></p> <p>（1）新駅設置予定地周辺地区の現況整理 えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインでは新駅 2 駅（押上地区と今村新田地区）の設置を計画して<u>おります</u>。 （略）</p> <p>●押上地区での新駅設置の背景と現況整理 <u>【計画策定時点】</u> 地元押上区は、周辺地区や糸魚川高等学校の保護者会等と連携し、新駅設置について継続的に要望しています。 （略） <u>【令和 3 年追加】</u> <u>令和 3 年 3 月に「えちご押上ひすい海岸駅」が開業しました。</u> （略）</p>	<p>5. 地域公共交通をめぐる新たな動き（新駅設置計画） 前述の現状と課題のほか、地域公共交通をめぐる新たな動きがあるので、次のとおり整理します。</p> <p>（1）新駅設置予定地周辺地区の現況整理 えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインでは新駅 2 駅（押上地区と今村新田地区）の設置を計画して<u>おり、早期の開業を目指しています</u>。 （略）</p> <p>●押上地区での新駅設置の背景と現況整理 地元押上区は、周辺地区や糸魚川高等学校の保護者会等と連携し、新駅設置について継続的に要望しています。 （略） （略）</p>	<p>（追加） （変更） （追加） （追加）</p>

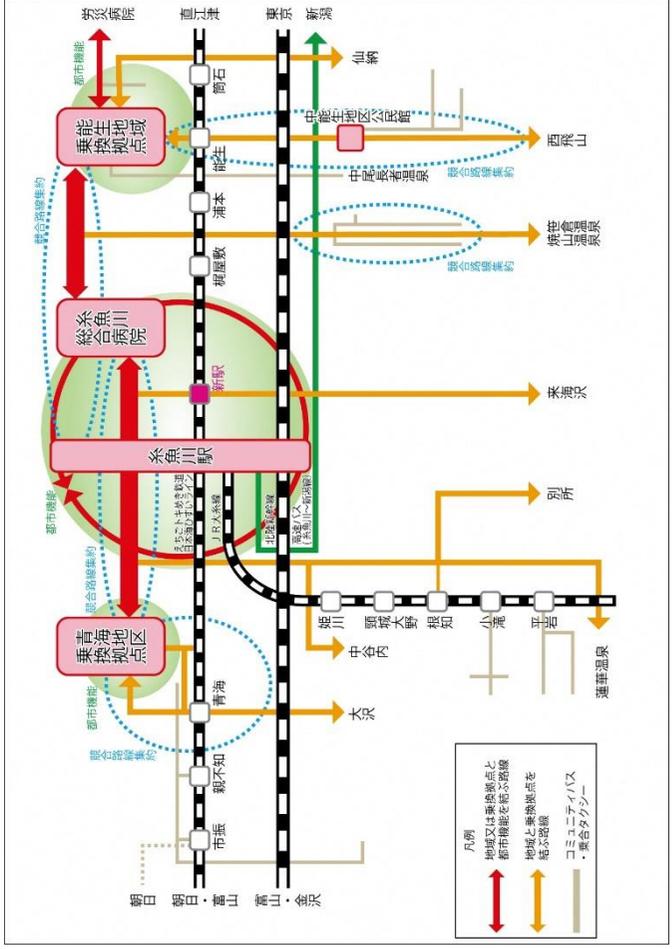
頁	新	旧	備考
8	<p>●今村新田地区での新駅設置予定の背景と現況整理</p> <p><u>【計画策定時点】</u></p> <p>(略)</p> <p><u>【令和3年追加】</u></p> <p><u>平成29年度に新駅設置に向けて検討した結果、今村新田駅を整備については、当時の利用状況から十分な経済的整備効果が見込めないと判断しました。</u></p> <p><u>市の将来の財政負担やえちごトキめき鉄道の経営を考慮して押上駅のみを整備することとし、今村新田駅を整備は、今後の周辺地域の状況や社会情勢等を踏まえ対応を検討することとなりました。</u></p> <p>(略)</p>	<p>●今村新田地区での新駅設置予定の背景と現況整理</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p>	<p>(追加)</p> <p>(追加)</p>
9	<p>(2) <u>新駅</u>整備により期待される相乗効果</p> <p>糸魚川駅に<u>隣接して</u>新駅を整備することにより、北陸新幹線糸魚川駅や糸魚川市街地中心部と市街地郊外の住宅地とのアクセス性が向上します。また、バス等の公共交通と連携することにより、地域公共交通網の利便性が向上し利用促進が図られます。</p> <p>また、「糸魚川駅以外の他の既存駅から新駅」または「新駅から<u>他の既存駅</u>」等、通学通勤などにおける利便性向上の相乗効果をもたらす、近隣移動にも便利な移動手段とし</p>	<p>(2) <u>2駅</u>整備により期待される相乗効果</p> <p>糸魚川駅<u>の東西に1駅ずつ</u>新駅を整備することにより、北陸新幹線糸魚川駅や糸魚川市街地中心部と市街地郊外の住宅地とのアクセス性が向上します。また、バス等の公共交通と連携することにより、地域公共交通網の利便性が向上し利用促進が図られます。</p> <p>また、「糸魚川駅以外の他の既存駅から新駅」または「新駅から<u>新駅</u>」等、通学通勤などにおける利便性向上の相乗効果をもたらす、近隣移動にも便利な移動手段として新た</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

頁	新	旧	備考
9	<p>て新たな需要を掘り起こすことができるほか、接続するバス等の他の交通機関への波及効果が期待されます。</p> <p>(略)</p> <p>このように、新駅の整備は、鉄道のみならず、地域公共交通ネットワークや地域活動の活性化に大きく寄与するものです。</p>  <p>図：新駅整備により期待される効果イメージ図</p> <p>(略)</p>	<p>な需要を掘り起こすことができるほか、接続するバス等の他の交通機関への波及効果が期待されます。</p> <p>(略)</p> <p>このように、2駅の整備は、鉄道のみならず、地域公共交通ネットワークや地域活動の活性化に大きく寄与するものです。</p>  <p>図：新駅整備により期待される効果イメージ図</p> <p>(略)</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p>
10	<p>6. 計画が目指す姿、計画の基本方針及び実施方針</p> <p>(1)～(3) (略)</p>	<p>6. 計画が目指す姿、計画の基本方針及び実施方針</p> <p>(1)～(3) (略)</p>	
11	<p>(4) 実施方針の内容</p> <p>(略)</p> <p>実施方針④ えちごトキめき鉄道の新駅設置により、「新たな需要を掘り起こす地域公共交通網」</p>	<p>(4) 実施方針の内容</p> <p>(略)</p> <p>実施方針④ えちごトキめき鉄道の新駅設置により、「新たな需要を掘り起こす地域公共交通網」</p>	

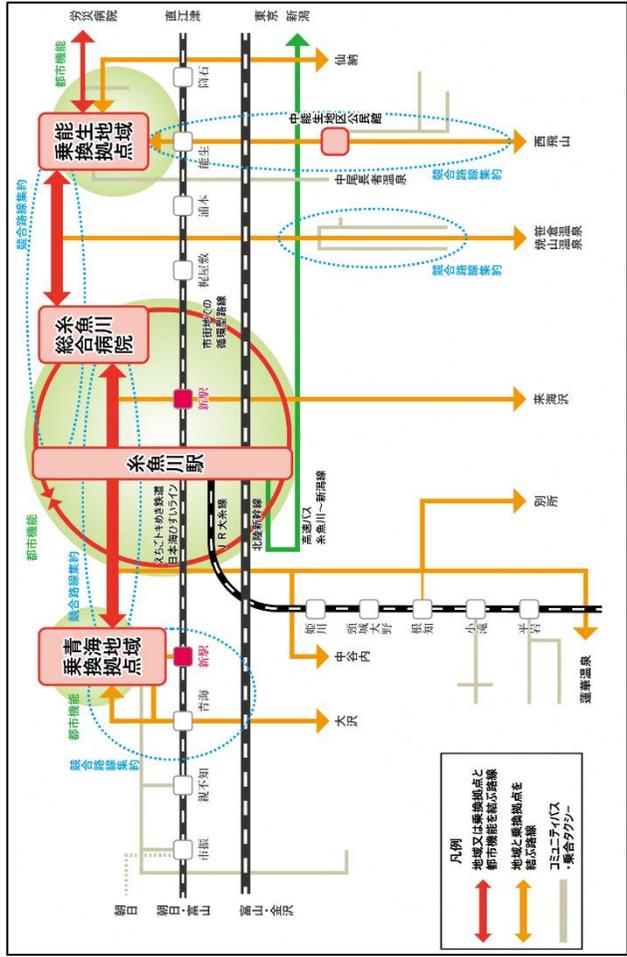
頁	新	旧	備考
11	<p>鉄道の利便性を高めて新たな需要の掘り起こしを図るため、えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインに新駅を設置します。<u>新駅と既存駅との利便性向上の相乗効果</u>をもたらし、<u>地域公共交通ネットワークへの波及効果</u>が期待されることから、<u>押上地区に新駅を設置します</u>。</p> <p>また、<u>新駅周辺</u>の地区住民と連携し、<u>新駅を生かす地域づくり、まちづくり</u>を推進します。</p> <p>(略)</p>	<p>鉄道の利便性を高めて新たな需要の掘り起こしを図るため、えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインに新駅を設置します。<u>新駅と既存駅、新駅と新駅などの利便性向上の相乗効果</u>をもたらし、<u>地域公共交通ネットワークへの波及効果</u>が期待されることから、<u>新駅は2駅とします</u>。</p> <p>また、<u>新駅予定地</u>の地区住民と連携し、<u>新駅を生かす地域づくり、まちづくり</u>を推進します。</p> <p>(略)</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>
13	7. 糸魚川市における地域公共交通の役割と検討の方向性 (略)	7. 糸魚川市における地域公共交通の役割と検討の方向性 (略)	
16	<p>8. 糸魚川市地域公共交通ネットワークの将来イメージ (1) (略) (2) 現状のイメージ</p> 	<p>8. 糸魚川市地域公共交通ネットワークの将来イメージ (1) (略) (2) 現状のイメージ</p> 	<p>(変更)</p>

頁	新	旧	備考
17	<p>(3) 通学通勤利用の将来構想イメージ (略)</p>  <p>凡例 → 地域又は乗換拠点と都市機能区域の路線 → 地域と乗換拠点を結ぶ路線 → 潜在的な路線 → コミュニティバス・集合タクシー</p>	<p>(3) 通学通勤利用の将来構想イメージ (略)</p>  <p>凡例 → 地域又は乗換拠点と都市機能区域の路線 → 地域と乗換拠点を結ぶ路線 → 潜在的な路線 → コミュニティバス・集合タクシー</p>	(変更)

(4) 生活利用の将来構想イメージ (略)



4) 生活利用の将来構想イメージ (略)



(変更)

頁	新	旧	備考								
19	<p>9. 計画の目標</p> <p>(1) 目標① 地域公共交通の利便性維持・向上</p> <p>成果指標 1 地域公共交通に係る満足度</p> <table border="1" data-bbox="327 443 1021 533"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.64 (5段階評価) 平成 28 年度アンケート</td> <td>2.80 (5段階評価) 令和 6 年度アンケート</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標内容：アンケートで把握する地域公共交通に係る満足度 計測方法：市民アンケートにおける設問</p> <p>※以下、21 ページまで「平成 33 年度」を「令和 6 年度」に、「H33」を「R6」に変更。</p>	現状値	目標値	2.64 (5段階評価) 平成 28 年度アンケート	2.80 (5段階評価) 令和 6 年度アンケート	<p>9. 計画の目標</p> <p>(1) 目標① 地域公共交通の利便性維持・向上</p> <p>成果指標 1 地域公共交通に係る満足度</p> <table border="1" data-bbox="1099 437 1794 526"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.64 (5段階評価) 平成 28 年度アンケート</td> <td>2.80 (5段階評価) 平成 33 年度アンケート</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標内容：アンケートで把握する地域公共交通に係る満足度 計測方法：市民アンケートにおける設問</p>	現状値	目標値	2.64 (5段階評価) 平成 28 年度アンケート	2.80 (5段階評価) 平成 33 年度アンケート	(変更)
現状値	目標値										
2.64 (5段階評価) 平成 28 年度アンケート	2.80 (5段階評価) 令和 6 年度アンケート										
現状値	目標値										
2.64 (5段階評価) 平成 28 年度アンケート	2.80 (5段階評価) 平成 33 年度アンケート										
20	<p>(2) 目標② 地域公共交通の利用促進</p> <p>成果指標 3 鉄道利用率</p> <table border="1" data-bbox="327 855 1021 979"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.8 回/年・人 平成 27 年度集計</td> <td>13.8 回/年・人 令和 5 年度集計</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標内容：鉄道の利用状況 計測方法：年間乗車人員÷年度末総人口</p> <p>平成 27 年度末総人口の 44,769 人に対し、<u>令和 5 年度</u> 目標人口は <u>37,662</u> 人であり、<u>7,107</u> 人 (<u>15.9%</u>) の減少を推計しています。人口減少の影響を踏まえた乗車人員の確保を図ることで、それ以上の減少に歯止めをかけるべく、鉄道利用率の維持を目指します。</p>	現状値	目標値	13.8 回/年・人 平成 27 年度集計	13.8 回/年・人 令和 5 年度集計	<p>(2) 目標② 地域公共交通の利用促進</p> <p>成果指標 3 鉄道利用率</p> <table border="1" data-bbox="1099 865 1794 989"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.8 回/年・人 平成 27 年度集計</td> <td>13.8 回/年・人 平成 32 年度集計</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標内容：鉄道の利用状況 計測方法：年間乗車人員÷年度末総人口</p> <p>平成 27 年度末総人口の 44,769 人に対し、<u>平成 32 年度</u> 目標人口は <u>41,660</u> 人であり、<u>3,109</u> 人 (<u>6.9%</u>) の減少を推計しています。人口減少の影響を踏まえた乗車人員の確保を図ることで、それ以上の減少に歯止めをかけるべく、鉄道利用率の維持を目指します。</p>	現状値	目標値	13.8 回/年・人 平成 27 年度集計	13.8 回/年・人 平成 32 年度集計	(変更) (変更)
現状値	目標値										
13.8 回/年・人 平成 27 年度集計	13.8 回/年・人 令和 5 年度集計										
現状値	目標値										
13.8 回/年・人 平成 27 年度集計	13.8 回/年・人 平成 32 年度集計										

頁	新	旧	備考																										
20	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 27 年度実績値</th> <th>令和 5 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗車人員</td> <td>乗車人員：619,733 人／年</td> <td>519,735 人／年 (目標人口×13.8 回)</td> </tr> <tr> <td>総人口</td> <td>44,769 人 (平成 27 年度末総人口)</td> <td>37,662 人 (第 3 次糸魚川市総合計画目標人口)</td> </tr> </tbody> </table>		平成 27 年度実績値	令和 5 年度目標値	乗車人員	乗車人員：619,733 人／年	519,735 人／年 (目標人口×13.8 回)	総人口	44,769 人 (平成 27 年度末総人口)	37,662 人 (第 3 次糸魚川市総合計画目標人口)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 27 年度実績値</th> <th>平成 32 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗車人員</td> <td>乗車人員：619,733 人／年</td> <td>574,908 人／年 (目標人口×13.8 回)</td> </tr> <tr> <td>総人口</td> <td>44,769 人 (平成 27 年度末総人口)</td> <td>41,660 人 (第 2 次糸魚川市総合計画目標人口)</td> </tr> </tbody> </table>		平成 27 年度実績値	平成 32 年度目標値	乗車人員	乗車人員：619,733 人／年	574,908 人／年 (目標人口×13.8 回)	総人口	44,769 人 (平成 27 年度末総人口)	41,660 人 (第 2 次糸魚川市総合計画目標人口)	(変更)								
	平成 27 年度実績値	令和 5 年度目標値																											
乗車人員	乗車人員：619,733 人／年	519,735 人／年 (目標人口×13.8 回)																											
総人口	44,769 人 (平成 27 年度末総人口)	37,662 人 (第 3 次糸魚川市総合計画目標人口)																											
	平成 27 年度実績値	平成 32 年度目標値																											
乗車人員	乗車人員：619,733 人／年	574,908 人／年 (目標人口×13.8 回)																											
総人口	44,769 人 (平成 27 年度末総人口)	41,660 人 (第 2 次糸魚川市総合計画目標人口)																											
	<p>※以下、21 ページまで「平成 32 年度」を「令和 5 年度」に変更。</p>																												
21	<p>成果指標 4 路線バス利用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10.2 回／年・人 平成 27 年度集計</td> <td>10.0 回／年・人 令和 5 年度集計</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標内容：市内路線バスの利用状況 計測方法：年間輸送人員÷年度末総人口 ※補助年度ごとの集計</p> <p>(略)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 27 年度（補助年度）実績値</th> <th>令和 5 年度（補助年度）目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>454,616 人／年</td> <td>376,620 人／年 (目標人口×10.0 回)</td> </tr> <tr> <td>総人口</td> <td>44,769 人 (平成 27 年度末総人口)</td> <td>37,662 人 (第 3 次糸魚川市総合計画目標人口)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	現状値	目標値	10.2 回／年・人 平成 27 年度集計	10.0 回／年・人 令和 5 年度集計		平成 27 年度（補助年度）実績値	令和 5 年度（補助年度）目標値	輸送人員	454,616 人／年	376,620 人／年 (目標人口×10.0 回)	総人口	44,769 人 (平成 27 年度末総人口)	37,662 人 (第 3 次糸魚川市総合計画目標人口)	<p>成果指標 4 路線バス利用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10.2 回／年・人 平成 27 年度集計</td> <td>10.2 回／年・人 平成 32 年度集計</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標内容：市内路線バスの利用状況 計測方法：年間輸送人員÷年度末総人口 ※補助年度ごとの集計</p> <p>(略)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 27 年度（補助年度）実績値</th> <th>平成 32 年度（補助年度）目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>454,616 人／年</td> <td>424,932 人／年 (目標人口×10.2 回)</td> </tr> <tr> <td>総人口</td> <td>44,769 人 (平成 27 年度末総人口)</td> <td>41,660 人 (第 2 次糸魚川市総合計画目標人口)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	現状値	目標値	10.2 回／年・人 平成 27 年度集計	10.2 回／年・人 平成 32 年度集計		平成 27 年度（補助年度）実績値	平成 32 年度（補助年度）目標値	輸送人員	454,616 人／年	424,932 人／年 (目標人口×10.2 回)	総人口	44,769 人 (平成 27 年度末総人口)	41,660 人 (第 2 次糸魚川市総合計画目標人口)	(変更) (変更)
現状値	目標値																												
10.2 回／年・人 平成 27 年度集計	10.0 回／年・人 令和 5 年度集計																												
	平成 27 年度（補助年度）実績値	令和 5 年度（補助年度）目標値																											
輸送人員	454,616 人／年	376,620 人／年 (目標人口×10.0 回)																											
総人口	44,769 人 (平成 27 年度末総人口)	37,662 人 (第 3 次糸魚川市総合計画目標人口)																											
現状値	目標値																												
10.2 回／年・人 平成 27 年度集計	10.2 回／年・人 平成 32 年度集計																												
	平成 27 年度（補助年度）実績値	平成 32 年度（補助年度）目標値																											
輸送人員	454,616 人／年	424,932 人／年 (目標人口×10.2 回)																											
総人口	44,769 人 (平成 27 年度末総人口)	41,660 人 (第 2 次糸魚川市総合計画目標人口)																											